

陣内秀信氏・オンライン公開講演

2021年3月15日 13:00より

地中海地域と西アジアとの比較都市論 —空間人類学の視点から—

アレppoの旧市街中心部



シエナの広場



チステルニーノの袋小路



ダマスカスの住宅の中庭

新学術領域研究「都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究」では、地中海地域と西アジア地域とを比較し新たな視座を得る観点から、陣内秀信・法政大学特任教授にお話を伺います。広域のフィールドワークに基づく空間人類学の手法に立ち、都市の成り立ち、中庭型建築の普遍性を考えます。

・日時：2021年3月15日（月）13：00～15：00

・会場：Zoomによるオンライン開催

13：00～13：10 開会の挨拶

13：10～14：40 公開講演：陣内 秀信（法政大学江戸東京研究センター特任教授）

「地中海地域と西アジアとの比較都市論—空間人類学の視点から—」

コメンテーター：松原 康介（計画研究第6班代表・筑波大学）

14：40～14：50 閉会の挨拶

・参加申し込み：

先着順200名まで。参加無料です。ご参加希望の方は、右のQRコードよりご登録ください。

・問い合わせ先：rcwasia@hass.tsukuba.ac.jp



【講師紹介】

陣内秀信（じんない・ひでのぶ）。1947年福岡県生まれ。

法政大学特任教授（イタリア建築・都市史）、博士（工学）。『東京の空間人類学』でサントリー学芸賞。アマルフィ名誉市民。イタリアを中心に、西アジアを含む地中海地域のフィールドワークに基づく業績多数。

・主催：文部科学省科学研究費新学術領域研究「都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究」